

みどりの ニュースレター

21世紀 地球を、地域を、生活を、
持続可能な豊かさに

8
2006
No.159

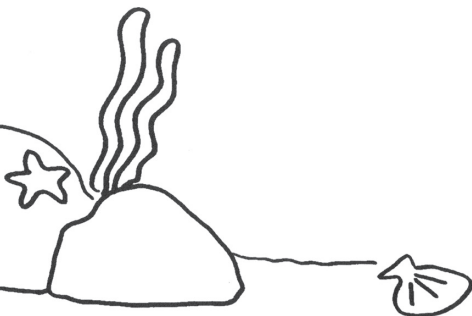
特集：エコロジカルな夏遊び！ 子どもも大人もエコロジカルに遊ぼう



『海の中をのぞいてみよう』 

Let's try!

お子さんと一緒に、もしくはこれを手にとったあなたが海の生き物に思いをはせながら、海の様子を書いてみましょう。



特定非営利活動法人

環境市民

Citizens Environmental Foundation - since 1992 -
<http://www.kankyoshimin.org>

環境市民発行 環境教育ワークブック
『みどりのえかきやさん』より抜粋編集。

¥100

みどりの ニュースレター



No.159

2006年 8月号

Citizens Environmental Foundation

コレ、 ためしてみました。

毎月エコロジカルなライフスタイル・グッズを
スタッフが体をはって実践レポートします！

File no.13

マルチに活用！ 簡単・便利な手づくり石けん

文／ニュースレター編集部 久保 友美
取材協力／本会会員 出口 洋司さん

私たちに身近な「石けん」。その石けんが廃食油から簡単に
手づくりできる！ ということで石けんづくり10数年のベテ
ラン、本会会員の出口洋司さんに作り方を教えて頂きました。

用意するものは、①カセイソーダ500g*、②水1リットル、
③廃食油3.9リットル、④空き缶：一斗缶などでOK、⑤空き
箱：牛乳パックやダンボールなど（石けんを流しこむための型
です）。

これらが揃ったらいざ開始！ 換気のできる外でやりましょ
う！ まず空き缶にカセイソーダ、水を順に入れ透明になるま
でかき混ぜます。カセイソーダは劇薬なので、ゴーグル、長袖
が安全。次に廃食油をゆっくり注ぎ入れます。15～30分間で
ポタージュ状に。数人で協力してわいわいお喋りしながらかき
混ぜたらあっという間です。あとは、空き箱に流し込むだけ！

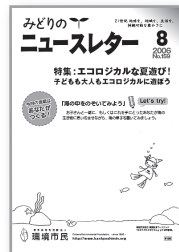
数日で表面が固まるので、切り目を入れて取り出し、使える
ようになるには約1か月乾燥させます。約50個の石けんが完成。
ただし、体洗いに石けんを使う場合は、完全に中和させるため
に半年ほどの乾燥が必要。

石けんは体や手洗いはもちろんのこと、食器や洗濯、シャン
プーなど幅広く利用できます。手づくり石けんは合成洗剤に使わ
れている高級アルコールが含まれていないので、体への影響もあ
りません。実際、手を洗ってみるとしっとりとして肌に馴染む感
じ。また合成洗剤による排水は下水処理に悪影響がありますが、
手づくり石けんは下水に流れ込んでも、水・塩・二酸化炭素に分
解されるので安心。

石けんが固まるためには温度が必要。暑い8月にぴったりで
す。手づくり石けんでも体も気持ちもさっぱりしてみませんか？

※約500円。取り扱い注意の劇薬。薬局で購入の際には印鑑が必要。

●石けんの読者プレゼントあり！（P14参照）



今月の表紙……

地球には人間以外にも多くの生きもの
が生きています。

食べて、分解して、生産して、また食
べて……そんな生きものの輪がいわゆる
生態系です。人は今、この生態系にどう
かかっているのでしょうか。ぜひ、実際
に海に行ったり調べたりして考えてみて
ください。

コレため！

マルチに活用！ 簡単・便利な手づくり石けん…02

特集：エコロジカルな夏遊び！ 子どもも大人もエコロジカルに遊ぼう

親子キャンプで自然を感じよう…04

鳥の親子を探しに行こう！…05

子どもも大人もまちを歩けば…06

『みどりのえかきやさん』を使って
ごみを出さない暮らしを考えてみよう！…07

夏の推薦図書…08

環境先進国の根っこをつくる子どもの遊び…09

とれたて！ 環境市民

イベントカレンダー

旬のぶちメモ

…10

みんなでエコろう！ 行事案内…11-12

地球のなかま…13

第13回【後編】命のゆりかごマングローブ
その減少と私たちとのつながり

みんな集まれ！ わいわいひろば…14

8月のテーマ：あなたにとってのエコな生きもの

1/ 環境市民…15

瀬島 奈保子さん

今月のありがとう…16

新入会員インタビュー・新入会員・寄付他



特集：エコロジカルな夏遊び！ 子どもも大人もエコロジカルに遊ぼう

夏休み到来！夏休みといえば子どもたちとふれあうことも多くなります。夏休みは、子どもの自由研究、宿題のお手伝いをする、という人もいるでしょう。

そこで、今回のニュースレターでは、子どもたちと遊ぶときに誰もが気軽に実践しやすいエコロジカルな遊びやそのヒント、自由研究に役立つようなテーマを特集しました。



夏休みには子どもたちと自然体験をする機会も増えます。自然体験は環境のことを考えはじめきっかけになりますし、子どもの頃にそういった経験しておくことはとても大切です。しかし、その内容のみをみると、日常生活とほとんど変わらず、何不自由なく生活できるようなオートキャンプであったり、お店で購入したカブトムシを買い与えたり……。これは本当に自然体験になるのかな？と疑問に思うものも少なくありません。また、自然に触れ合うだけで、自分たちの日頃の暮らしとのつながり（環境の悪化など）までには至っていないのが現状ではないでしょうか。

夏休みの特別プランまで考えられなかった！なんていうときには、大規模ショッピングセンターに行って1日中過ごす、テレビをみて終わった、なんていう日もあるかもしれません。ただこうなると、結局はエネルギーや資源の大量消費、大量廃棄につながってしまいます。

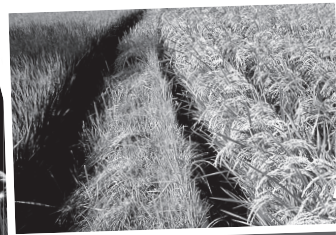
でも、じゃあどうしたらいいの？そこで今回の特集です。そんなに遠くに行くことを考えなくても、まちに出かけなくてもお家のまわり

で充分自然を楽しめる方法だってあるんです。エコロジカルな遊びは実は手軽で、お財布にもうれしい。しかも楽しい！そんな遊びのヒントを取材しました。

また今回は、学校の自由研究にも特に役立つ素材も紹介しました。（参照7ページ）子どもを対象にしたものですが大人も楽しく環境について知ることができる内容ですのでぜひ一緒にやってみてください。

せっかく子どもとふれあう機会の多い夏。ぜひこの特集をみっちり読んで、子どもと、いえ、大人同士でも大いに遊んで、楽しい夏休みをお過ごし下さい。

特集担当：有川 真理子/内田 香奈/瀬島 奈保子
寺西 孝一郎（敬称略）



親子キャンプで自然を感じよう！



取材協力:

あまべまほろ
余部 幸

自然観察インストラクター
環境市民会員

夏といえばキャンプです！

親子でキャンプを楽しむコツを紹介します。自動車の乗り入れやごみをちらかすなどの行為は生態系を破壊します。森を切り開いて作ったロッジを使わないなど、環境を配慮したキャンプ場を利用しましょう。

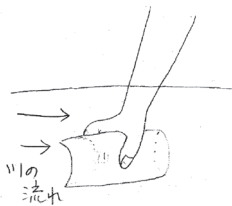
このページでは、何でも用意しないで、ロープ、ブルーシートを活用したキャンプの楽しみ方を紹介します。

文/瀬島 奈保子（環境市民会員） 編集/寺西 孝一郎

川遊び

キャンプ場は川のそばにあることが多いですよ。川では楽しいことがたくさんできますがその中の二つをご紹介します。「わな作り」と「ダム作り」です。

まず、魚を獲るためのわなを作ってみましょう。釣具屋さんには売っているようですが、もしも、ペットボトルを持っていれば、口側から5～6cmのところを輪切りにします。その口側を逆にしてはめ、それを川の中に沈め一晩おきます。次の日には魚がはいっているでしょう。親子でどうしてペットボトルがわなになるのか、魚の習性の話題で盛り上がってはいかがでしょう。



もうひとつは子どもが大好きなダム作りです。川の流力が遅くなっているところが狙い目です。石などを使って水をせき止めているだけなのですが、結構難しく、いろいろはさんだりしながら工夫してみてください。子どもが勝手にダムを作り始めたら、それはじっと見守りながら、時々「こうしてみたらどうだろう」と提案をしてみてください。もしキャンプに行っても何がすればいいのか分からないとしたら、親は黙々とこんな遊びを始めてみてください。そして忘れてないでほしいことは「本気で楽しむ」ことです。そんな親の姿をみて子どもはやってみたいくなります。

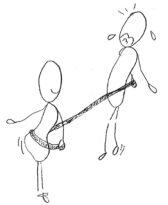


焚き火

キャンプ場は火の焚ける場所を選びましょう。キャンプでのハイライトはやはりキャンプファイヤー（焚き火）ですよ。最近は火が焚けないキャンプ場が増えているようなので、行く前に確認してください。荷物にはなりますが、焚き火台があれば焚いてもいいという場所もあります。焚き火の楽しさは、火をおこすところから始まります。木の組み方、風向きなど火をおこすには様々な要素が関わってきます。細い枝から組み、最後に太い枝をその上に立てるようにして置いたり、石を積んで風よけにしたり様々な工夫が必要になってきます。それをみんなで行って試行錯誤しながら行うことが焚き火の最初の楽しみです。

ロープを使う

キャンプの楽しみ方は人それぞれ、そのため準備する物もそれぞれ違っていいのですが、これだけは！というものがあります。ロープです。便利グッズでもありますが、遊び道具にもなります。木の枝にロープをくくりつけそこにブルーシートをかければ、日よけ、雨よけ、テントになります。ロープ2本と太めの木の枝を使って即席ブランコもできます。大きめの布（タオルなど）があれば、端を結びロープを通して枝にくくりつけるとハンモックもできますし、ロープ相撲も楽しむことができます。ロープ相撲のやり方はいろいろありますが、ひとつ紹介しましょう。二人で1本のロープの両端をそれぞれ左側から後ろに回し、右手でしっかりと持ちます。一度その対角線になったロープをたるませ、輪にしたら相撲がスタートします。お互い立ち上がりロープを張って、押したりひいたりしながら足が動いたほうの負けです。というわけでロープだけは持ち物リストからはずせません。



身近にできる遊び

・ネイチャーサウンドマップ……

紙とペンを持って公園に行ってみましょう。しばらくじっと聞こえてくる音を文字にします（例：がちゃがちゃ、等）。紙の中心に自分がいるとして音が聞こえてくる方向にそれぞれ音を書きます。その後その文字を絵にしてみると、人によって全く違った絵ができておもしろいでしょう。

・セミの羽化観察……

夏に必ずみかけるセミの羽化の様子を見たことありますか？ 都市公園の木を見てみると、セミの幼虫が羽化する様子を見ることが出来ます。幼虫から成虫になる光景は生命の尊さや神秘さを知ることが出来ます。自由研究で、セミの生態を調べたものと羽化の様子の観察を組み合わせてもいいかもしれません。

★ロープの使い方がわかる本……

『ロープワーク・ハンドブック』羽根田 治著 山と溪谷社

鳥の親子を探しに行こう!

夏を迎え、たくさんの虫や鳥たちが私たちの前に姿を現すようになります。よく見かける鳥たちの生活を垣間見てみませんか。普段は見られない光景を見ることができます!

文/瀬島 奈保子 (環境市民会員) 編集/寺西 孝一郎

取材協力:

西台 律子

(京都自然観察学習会講師、環境市民会員)



鳥の親子を探してみよう!



尾羽の長いのが親鳥、短いのが幼鳥

夏はたくさんの鳥が親子でいるところを見ることができます。そんな鳥の親子を観察してみましょう! 家の近くの緑地に行くと、鳥の親子に出くわします。人間と同じように親鳥がヒナに生きるすべを教えているのを観察できます。夏が見ごろで、飛び方、えさの捕り方などを教えている様子を見ることができます。他に人間の親子と共通しているところは、親鳥が必死でヒナを守る行動です。親鳥が必死で鳴いている声を聞いたら、それはヒナを守るための警戒音です。もしかしたら、巣に近づきすぎたために、あなたに対して鳴いているのかもしれない。

特徴的な守り方をするのがカモ類やチドリ類、ケリなどです。これらの親鳥は自分がおとりになり、天敵からヒナを守ります。これは擬傷行為と呼ばれるもので、まるで自分が怪我をしているかのようにみせ、天敵をおびき寄せ、天敵がヒナから遠ざかったところで自分も逃げる行為です。

このようにヒナに必死で生きるすべを教える親鳥、ヒナを必死で守る親鳥の姿を親子で観察してみませんか。夏休みの自由研究で、観察した鳥の生態を調べ、親子の違いや、親子の行動を記録してみましょう。

フィールド観察用図書



『めざせ! フィールド観察の達人』

飯村茂樹著 偕成社

様々なフィールドワークの楽しみ方を知ることができる1冊! これさえあればどこでもフィールドワーク楽しめます。



『ため池と水田の生き物図鑑 (動物編)』

近藤繁生著 トンボ出版

ため池にいる生き物の生態がわかる図鑑。普段、何気なく見ている生き物がどのような生活をしているのか調べることができます。

ツバメの集団ねぐらを見に行こう。

ツバメは、越冬のため秋になると暖かい東南アジアへ渡っていきます。その前に、一度集団ねぐらに集まります。たくさんのツバメが集まるねぐらの様子は圧巻です。

集団ねぐらは、外敵から身を守るのと同時に、その日の出来事や、翌日の餌場のヒントを伝え合うなどコミュニケーションをとる場としての意義もあります。

京都では、ツバメの集団ねぐらを観月橋宇治川下流のヨシ原で見ることができます。京阪観月橋駅から左岸を500メートルほど歩いた「源内ヨシ原」です。7月下旬から9月上旬にかけて夕方ヨシ原に集まるので、ぜひ見に行ってみてください。

全国各地のヨシ原が鳥のねぐらとなります。各地で野鳥の観察会が開催されますので、親子で鳥のねぐらを見に行きましょう!



集団ねぐらのあるヨシ原

観察時の注意事項

えさを与えない: えさをあげることで自然の生態系を壊したり、えさに頼りすぎて、自分でえさをとれなくなることもあります。

どこに巣を作っているのかわかる: 巣にあまり近づきすぎると親鳥が警戒してヒナにえさをあげることができず、ヒナに与えるえさの量が著しく減り、ヒナの生育に影響を与えることがあります。

ヒナは拾わない: 自然に落ちたならば自然のままにしておくことが大切です。むやみに拾って親の教育を受けられない状態にならないようにしましょう。ケガした鳥は近くの鳥獣保護センターへ。センターリスト:

<http://www.wbsj.org/birdwatching/question/kega.html>

懐中電灯は足元のみ照らしましょう: 突然ライトで照らされると、野鳥が驚きます。光に敏感な夜行性の野鳥もいます。

騒がない: ねぐらは鳥の安静・安息の地です。驚かせないように静かに観察しましょう。



『学研版ジュニア大自然図鑑エコロ』

田村侑編 GAKKEN

動物の生態や植物の生長はもちろん、人間の体内についてまで書いている図鑑。

子どもも大人も まちを歩けば

文/ニュースレター編集部 有川 真理子

夏休みは家でゆっくりという人にも、旅行に行く、里帰りをするという人にもおすすめしたいのが「まち歩き」。これといった特別な方法があるわけではないのですが、いつもよりちょっと気をつけてまちを歩くだけで見えてくるものがたくさんあります。

例えば、家のまわりだったら「季節の変化が楽しみなところ」。旅先だったら「自分の住んでいるところに似ているもの、似ていないもの」「何か懐かしいなと思うもの」そんなテーマを決めて歩いてみましょう。そうするといつもは見えなかった風景が、ふっとあなたの前に現れるはずですよ。

さらに、子どもと一緒に歩けば、大人ではなかなか気づかない、楽しくて、驚くような発見があることでしょう。

まち歩きは、通常、まちづくりを考えるワークショップや環境市民がまちなかで行うエコツーリズム「アーバンエコツーリズム」を実施する際によく使われる手法です。

まちづくりのはじまりは「まちへの関心、愛着」といわれています。まちに関心を持つことが、まちづくりへのはじめての歩へとつながります。これが旅先であれば、じっくりとその場所と向き合うことで旅の楽しさを倍増させてくれますし、帰ってから、自分のまちを見直すきっかけになるでしょう。

特に子どもは、将来を担う存在ですから、まちのいいところ、嫌なところを体感していくことは、ひいては「持続可能な地域づくりのための人材育成」につながる、ともいえるかもしれません。

何はともあれまち歩きは楽しいものです！ 時間のある夏休みはぜひ、家のまわりを、旅先を、ゆっくりと歩いてたくさんの発見をしてみたいはいかがでしょうか。

オススメのまち歩きテーマ

- ・ お弁当を食べたらおいしそうなお店
- ・ 五感で楽しむ（音、色、香り、味、手触り）
- ・ 味わいのある建物やその見え方
- ・ すきま園芸（路地、前庭、プランター、水辺）
- ・ まちの人が大事にしているもの、場所
- ・ 高齢者がほっとできたり、おしゃべりしたりする場所
- ・ 量り売り、修理をしてくれるお店
- ・ 季節を感じさせてくれるお店

まち歩きのポイントはこの他にもたくさんあります。ぜひこの手がかりをもとに、まちの魅力をたくさん見つけてください。歩いているうちに、自然といろいろなことに気づくようになり、お仕事の合間のちょっとした移動、毎日のお散歩、旅先での楽しみ方がぐんと！広がります。

（参考/抜粋）2006年実施 環境教育リーダー養成講座第3回 資料（永橋 為介氏作成）

環境市民京都事務局周辺を
まち歩きしてみました。



屋根をつき破って樹が出現！ このお家と樹の歴史に思いを馳せると……。



レトロな看板を発見。電話がプッシュホンじゃない！ いつの時代のものかなー。



いろんな道。どんな舗装があるかな？ 足の感触、見た目はどうか？ 天気によっても変わるよ。



街路樹の足元に生えるどくだみ。まちの中でも注意してみるとこんな発見が。



樽(?)から育つ銀杏。今回のまち歩き「すきま園芸大賞」かな？



環境市民京都事務局の周辺。あなたのまちにもいろんな発見があるはず。Let's まち歩き！

環境市民の環境教育ワークブック

『みどりのえかきやさん』を使ってごみを出さない暮らしを考えてみよう！

文／環境市民事務局スタッフ 内田 香奈

環境市民のオリジナル教材『みどりのえかきやさん』の中から「うわあ～ゴミゴミマンだ！」のシート（8月号ニュースレター同封 又は同書籍16頁）を使って、ごみについて考えます。

- ① ワークシートにごみからうまれた怪物を描く（家族全員、それぞれのゴミゴミマンを描いてください）。
- ② 描いた絵を見せ合い、描かれているごみについて考え、普段の暮らしをふりかえります。
- ③ ごみを減らすにはどうすればいいか、ワークシート裏面も参考に家族で考えてみましょう。

ここでは、ごみ問題を考えるヒントをお伝えします。

●ごみ問題を考えるヒント



ごみは重さと容積で考えよう

日本人が1年間に家庭から出すごみの総量は5,059万トンで、1人1日当たりのごみ排出量は1,086gです（※1）。家庭からでるごみは、「重さ」と「かさ（容積）」という視点から見ることができ、重量ではその4割が食品ごみ、容積ではその6割が容器包装となっています（表1）。

表1 排出前使用用途別組成（平成16年度）

	湿重量比(%)	容積比(%)
容器包装材	23.1	60.8
商品	13.6	11.3
食料品	34.4	8
その他	28.9	19.9

「環境局事業概要」京都市環境局 平成17年度

日本の食料自給率は約40%。食品の多くを輸入に頼っているにも関わらず、たくさんの食品を無駄にしているのが日本の食の現状です。京都市の調査では食品ごみの5～6%（重量比）は、全く手を付けずに捨てられた食品です。世界の飢餓人口が約8億人といわれるなか、こうした食生活のあり方を見直す必要があります。

商品の過剰包装も課題の一つです。容器包装ごみの増加は、ごみ収集効率を下げ、石油等資源の大量消費という問題にもつながります。ごみを減らすような売り方をしているお店で買ったり、ごみが少ない商品を選ぶようにしたいものです。

（※1）環境省「一般廃棄物の排出及び処理状況等（平成16年度）」



大切なのは量を減らすこと！

図1は、約30年間の国内における缶、ペットボトルの消費量の推移を表したものです。年間の消費量は430億缶。これは、赤ちゃんからお年寄りまで日本人が毎日1人1本以上の缶・ペットボトル飲料を消費している計算になります。

缶、ペットボトルを利用する人の中には、「リサイクルできるから」という理由をあげる人もいますが、リサイクルは解決策にはなりません。缶やペットボトルの処理費用は自治体が負担しています。つまり、私たちの税金が使われているのです。

表2をみるとアルミ缶についてリサイクル率は年々上がっていますが、消費量の増加に伴い処理する量も増えています。缶、ペットボトルをはじめとしてごみの処理にかかる費用を減らすことができれば、その分教育や福祉など他の分野に使うことができるのです。

図1

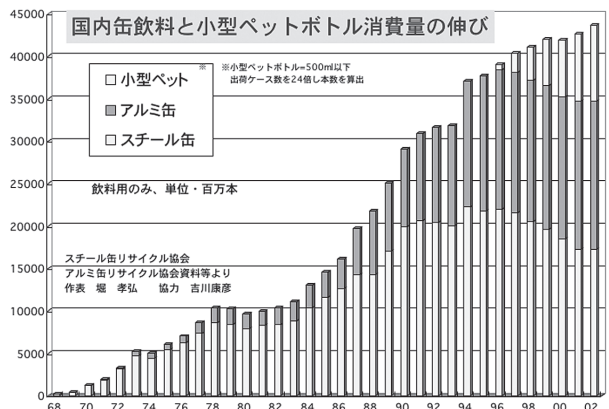


表2 アルミ缶のリサイクル率とリサイクルされた量

	消費量 (億缶)	リサイクル率 (%)	リサイクル された量(億缶)
1977年	13.3	17.2	2.3
1984年	26.8	40.6	10.9
1994年	148.5	61.1	90.7
2004年	185.2	86.1	159.5

アルミ缶リサイクル協会資料より



ごみを減らす暮らしと買い物のヒント

日々の買い物や暮らしの工夫から、ごみを減らすことができます。

考えてみる ……………

- 本当に必要なものですか？
- 買いすぎていませんか？
- 安いからというだけで買っていませんか？

行動する ……………

- 外出時は水筒に飲み物を入れて持っていく。
- とときどき、冷蔵庫にある材料だけで料理を工夫してみる。
- 買い物にはマイバックを持っていく。
- 量り売りや包装が少ない売り方をしているお店で買い物をする。
- お店にごみの出ない売り方にするように要望する。

商品を使った後（暮らしの出口）に始末の仕方を考えるのではなく、買う時（暮らしの入り口）に考えるのがグリーンコンシューマー。ごみにならない商品を選べば、暮らしはずっと快適になるでしょう。

夏の★ 推薦図書

今回の特集ではエコロジカルな夏の遊びを紹介しました。このページでは取材協力していただいた余部 衛^{あるべ まもる}さんの推薦図書と特集担当者の推薦図書を紹介します。子どもから大人まで楽しめる本となっていますのでぜひ一度読んでみてください。

●余部 衛さんの推薦図書



『冒険図鑑 野外で生活するために』
さとうち 藍/文 松岡 達英/絵 福音館書店

テントの立て方、焚き火、ロープの結び方などキャンプに必要な作業を絵で詳しく紹介しています。初めてのキャンプでは必需品です。キャンプ以外の野外活動の楽しみ方、注意点も載っています。

『かがくのほん 海』

加古 里子/ぶん・え 福音館書店



海の中を面白く、わかりやすい表現で書かれています。親子で読むのに適した本です。

『かがくのほん 地球 その中をさぐる』

加古 里子/ぶん・え 福音館書店



地球の内部や私たちの足もとについてわかりやすく、親子で楽しめるように書かれています。親子で読んでください。

●8月号特集スタッフの推薦図書

『あめがふるときちょうちょうはどこへ』

メイ・ゲアリック作/レナード・ワイスガード絵
/岡部 うた子訳 金の星社



雨が降るとき、もぐらは土に、ミツバチは巣の中に、でもちょうちょうはどこに行くのでしょうか。絵も語り口調もやさしく、雨の日に思わず外にでていろいろな動物を探したくなる一冊です。

『森の中のフロイド』・『町を行くフロイド』

マリー・メイエル作/イングラ・ペーテション絵
/とやま まり訳 さ・え・ら書房



渡り鳥のフロイドくんが様々な出会いを通して環境について問いかけをしてくれます。内容の濃い、大人にも楽しめる絵本です。環境問題を考える上で必要な基本的な知識も書かれており、勉強になります。

環境市民の環境教育ワークブック



『みどりのえかきやさん』&『七転び八起き環境共育』

環境市民のオリジナル教材です。『みどりのえかきやさん』は、自由に書き込みができ、書き込むことを通じて自らの暮らしをふりかえり、環境問題とその解決に気づききっかけを作ります。「しぜん」「ごみ」「エネルギー」「たべもの」の4分野に分かれています。『七転び八起き環境共育』には、『みどりのえかきやさん』を使ったワークショップの実践例とワークショップの組み立て方が紹介されています。

『七転び八起き環境共育』 『みどりのえかきやさん』とのセット販売
セット価格 会員 1000円 一般 1200円 ※全て税込み価格

環境先進国の根っこをつくる子どもの遊び

子どもの多くが、外で遊ばずテレビゲームに熱中し、移り変わりの早いキャラクター玩具をはじめ、毎年多くのおもちゃが使い捨てにされています。多くの方は「時代の流れ」とあきらめていることでしょう。

しかし、このような状況を「時代の流れ」とあきらめない国もあります。環境先進国と呼ばれるドイツは、この分野でも私たちの社会とひと味違う社会を築き上げています。

文 / 環境市民事務局長 堀 孝弘



* * *

今から12年前の1994年、環境市民主催の「ドイツ・スイス流通企業環境対策視察ツアー」に参加した私は、まだ子どもたちが幼かったこともあり、自由時間に「まちのおもちゃ屋さん」を探しては立ち寄りしました。7都市で8軒のおもちゃ屋さんののぞき、大きなショックを受けました。キャラクター玩具や武器のおもちゃ、テレビゲームがほとんどないのです。テレビゲームは8軒中1軒が扱っていただけで、逆に家族いっしょに遊ぶボードゲームの扱いはとても充実していました。また電気を使ったおもちゃが少なく、耳障りな電子音でなく、オルゴールの音が静かに流れていました。「これならゆっくり、子どもたちに与えたいおもちゃを選ぶことができる」と感じました。

さらに驚いたのは、どのまちでも中心部におもちゃ屋さんがあることでした。日本では「まちのおもちゃ屋さん」の廃業が続き、京都でも新京極商店街からおもちゃ専門店がなくなりました。ドイツでは、おもちゃ屋さんの多くが子育ての専門的な知識を持っていて、単にモノを売るだけでなく、幼児をもつ親の様々な相談に乗りながら、子どもの成長を助ける道具としておもちゃやゲームを販売しています。この「情報を提供できる力」が、まちのおもちゃ屋さん生き残りの源になっています。

幼児期に使い捨てや暴力的表現に慣れさせてしまうと、成長後にエコロジーなライフスタイルを伝えようとしても、理解してもらうのはたいへんです。その点、環境先進国ドイツの根っこに、子育てやおもちゃに関しても「先進国」と形容できるものがありました。

さて、「ドイツはいいな」と憧れるだけでなく、私たちは何ができるのでしょうか。

ひとつは「時代の流れ」とあきらめないこと。他国のいいところは大きいに学ぶこと。そして子どもと関わる力を高めることがあげられます。

子どもからテレビゲームやキャラクター玩具を排除して、純粹培養することなどできません。しかし、テレビゲームやキャラクター玩具を与えたなら、それだけでなく「もっと楽しいこと」を提供することも必要です。私たちの社会が本当の環境先進国になるには、「子どもの遊ぶ力」を高めるだけでなく、大人の「子どもと遊べる力」を高めることも必要です。

誰もが必ず歳をとり、将来世代に、暮らし、安全などを頼らざるを得ない日が必ずきます。次の世代にどのような環境を与え、どう育てるか、今の世代にとって子どもの有無に関わらずとても大きな問題です。

環境市民は、ミッションのひとつに「エコロジーな次世代を育む」を掲げ、そのサブミッションとして「子どもたちを取り巻く環境をエコロジーにする」があります。

昨年度から京エコロジーセンター（京都市環境保全活動センター）と共催している「京都自然めぐり・子どもと遊べる大人になろう」は、その実現のための活動であり、未来をつくるための活動です。

○お知らせ○

今年の秋から「京都自然めぐり・子どもと遊べる大人になろう2006」を開催します。詳しくは11頁をご覧ください。



～環境市民の今、そしてこれからの活動をお知らせします～

とれたて！環境市民



第2回未来創世塾 反原発から脱原発への4つのビジョン 「原発なし（脱原発）の暮らしは可能なのだろうか？」

開催日：7月8日（土） 講師：堀 孝弘（環境市民事務局長）

脱 原発と聞くと「どうやって？」と誰もが思う疑問に対し、原発に頼らないための4つのエネルギー政策が提案された。

一つ目は、同じ熱燃料の量を得ても排出するCO₂や温室効果ガスの割合が大きい石炭から、天然ガスへの燃料転換。二つ目はシステム転換による効率の向上。従来の火力、原子力発電では、送電のロスなどにより家庭で実際に使われるエネルギーは約40%しかなく、地域ごとにガスコージェネレーションのような小さな発電所をつくれば、エネルギー利用率は87%にまで上昇する。三つ目は電力の自由化。現在の地域ごとに統一された配電の仕組みでは、利用者は選択の余地がない。しかし、配電・送電・発電会社がそれぞれを独立すれば、消費者はエネルギー選択が可能になる。また、送電の自由化がすすむと、国内の余剰電力の活用も高まる。最後に、自然エネルギー

の活用。風力発電や太陽光発電、バイオマス発電などさまざまな自然エネルギーが存在しているが、政府が補助金などを投入することにより、誰でも手に入れやすい価格にすることで更なる普及も可能である。以上が脱原発へ向けたビジョンであるが、最も重要なことは、「エネルギーマンモスからエネルギーボックスへ」という考え方である。エネルギーの供給単位を小さくし、地域のエネルギーをどのように生みだし得るかについて住民自ら考え、エネルギー自治の根幹をなすものである。

そして私たち一人ひとりも、脱原発に向けて「省エネ」という簡単なことから始めることができる。例えば、待機電力を減らすために、あまり使わない電化製品のコンセントを抜くなど。脱原発のビジョンの中に、私たちの思いや行動も反映させたい。

（文/ニュースレター編集部 吉田 佳代）



ミーティング&イベントカレンダー

3日(木)	ラジオチームミーティング	午後6:30から		
5日(土)	東海 環境市民nagoya cafe	ぼっとらっくばーてい 午後7:00から9:00 (P.11)		
6日(日)	エコロジーな住空間工作教室ホリアースクール	午後1:00から3:30		
7日(月)	SKIP全体ミーティング	午後7:00から ニュースレター編集部	午後6:30から	
9日(水)	ラジオチームミーティング	午後6:30から ニュースレター編集部	編集日	午後6:30から
10日(木)	自転車チームミーティング	午後7:00から 東海・滋賀 山川里海のネイチャーツアー	in 伊吹山	(P.12)

※「●」は京都事務局までお問い合わせ下さい。

'06
8月

11日(金)	電子かわら版チームミーティング	午後7:00から			
13日(日)	遊んで学べる！ エコファイターのエコレッスン♪	午前10:30から、午後1:00からの2回開催(途中入退場可) (P.11)			
19日(土)	東海 ぶち環境博2006	午前10:00から午後4:00 (P.11)			
20日(日)	東海 ぶち環境博2006	午前10:00から午後4:00			
23日(水)	子ども向け環境教育サイト制作プロジェクト(みつたまプロジェクト)	ミーティング	午後7:15から ニュースレター編集部	校正日	午前10:30から
31日(木)	ニュースレター発送日	午後1:00から			

ボチのメモ旬

あなたの心に季節の窓を。
旬の話題と暮らし方のヒントを
お届けします。

● VOL. 14 ● 「虫除け」 めざせ！ 快適蚊除けライフ

この暑い中、元気に活動して私たちを悩ませる蚊。「虫除けスプレーで虫対策!」のパターンになりがちですが、人体への悪影響を懸念している方も多いのでは。そんな方はハーブやエッセンシャルオイルでの蚊除けに挑戦してみても？ どちらもたくさんの種類があり、除ける虫によって使うものが違いますが、蚊の場

合はハーブに「蚊連草」という種類があります。人工交配で作られたものでゼラニウム的一种です。また、エッセンシャルオイルならシトロネラ、ユーカリ、クローブ、レモングラスなどの虫が嫌う種類を配合したものが販売されています。

（文/ニュースレター編集部 安江 晃子）

みんなで エコろう！ 行事案内

問合せ・申込み

環境市民

<http://www.kankyoshimin.org>

【TEL】 075-211-3521
【FAX】 075-211-3531
【IP電話】 050-3581-7492
【E-mail】 life@kankyoshimin.org

遊んで学べる！エコファイターのエコレッスン♪

いま地球でどんなことが起きているんだろう？ 地球環境に関するカルタやお絵かきをしながら楽しく遊んで学ぼう！ぜひ遊びにきてね。

と き：8月13日（日）午前10:30から、午後1:00からの
2回開催（途中入退場可）

ところ：京エコロジーセンター（京都市環境保全活動センター）

参加費：無料

持ち物：筆記用具

服装：動きやすい服装

申込み：不要

企画：環境市民 環境共育チームSKIP

主催：京エコロジーセンター（京都市環境保全活動センター）

京都自然めぐり 子どもと遊べる大人になろう 2006

京都周辺の素晴らしい自然を、子育てや野外遊びに造詣の深い講師らとめぐります。自然のなかで、お金やエネルギーを使わなくても遊べる大人になるため講座です。高校生以上で子ども遊びリーダーになりたい人、野外遊びに関心ある人は是非ご参加ください。

■第1回「子どもの頃の感動を呼び覚まそう！」

と き：10月1日（日） ところ：京都御苑
講師：とびっきりの野外あそび人 西村 仁志さん

■第2回「子どもの心を育てるおもちゃで遊ぼう！」

と き：11月3日（祝・金）
ところ：キッズいわきパフ（宇治市）
講師：とびっきりのおもちゃやさん 岩城 敏之さん

■第3回「秋の大文字で芸術家になろう！」

と き：11月26日（日） ところ：大文字山（左京区）
講師：とびっきりの自然案内人 久山 喜久雄さん

■第4回「森の遊びと森の暮らし」

と き：1月27日（土）
ところ：環境市民こもれび小屋（西京区）
講師：とびっきりの森の探検家 余部 衛さん

■第5回 2月～3月 左京区大原 大原工房

※第5回の詳細は次号でお伝えします。
と き：全講座 午前10:00から午後4:00
参加費：一般2,500円 環境市民会員、エコメイト2,000円
原則全5回参加できる人を募集
申込み：必要
主催：環境市民、京エコロジーセンター（京都市環境保全活動センター）

未来創造塾

第4回「欧州スーパーの売り場から学ぶ グリーンコンシューマーが開く未来」

はかり売りやバラ売りと言うと、「昔、そんなのあったよね」と言う人もいるでしょう。しかし、ヨーロッパのスーパーで、はかり売りやバラ売りは、昔のものではありません。日本で導入されるために、消費者はどのような行動をすればいいのでしょうか。グリーンコンシューマー活動の進展とあわせて紹介します。

と き：9月9日（土）午後1:00から4:30

第5回 自然の保護と保全の違い 自然のネットワーク・残し方の基本

自然保護と自然保全は、似ているようで違います。自然と人間が共生するためのカギがここにあります。人がまったく手をつけなければ、自然は豊かになるのか、人が関わることで豊かさを維持してきた雑木林の例を紹介し考えます。また、海外のある都市の「自然のネットワークづくり」の事例から、自然の残し方の基本的な考え方を紹介します。

と き：10月7日（土）午後1:00から4:30

ところ：環境市民 京都事務所

講師：環境市民事務局 堀 孝弘

申込み：必要

問合せ・申込み

環境市民 東海事務所 【TEL/FAX】 052-521-0095
【IP電話】 050-3604-6182
<http://www.kankyoshimin.org/tokai> 【E-mail】 tokai@kankyoshimin.org

環境市民 nagoya cafe & ぼっとらっくばーてい

●環境市民 nagoya cafe

運営に関するミーティングをおこないます。どなたでも参加できます。ぶちボランティアも歓迎します。お気軽にどうぞ。

●「ぼっとらっくばーてい」

マイカップと一品を持ち寄り、楽しいひと時を過ごします。是非お友だち（まだ会員でない方）をお誘いいただきご参加ください。

と き：8月5日（土）午後7:00から9:00

ところ：環境市民 東海事務所

参加費：無料

申込み：必要

●ぶち環境博 2006

住宅展示場で行う、環境を学べるプログラムです。子どもや家族で半日楽しめます。

と き：8月19日（土）・20（日）午前10:00から午後4:00

ところ：中京テレビハウジングパークみなと（名古屋市港区）

<http://www.35s.co.jp/sumaiclub/>

企画：環境市民 東海事務所

主催：中京テレビハウジングパークみなと

山川里海のネイチャーツアー in 伊吹山

お花をいっぱい見て目の保養と、湧き水で喉を潤します。
どなたでも参加できます。トレッキングしませんか？

と き：8月10日(木)

と ころ：伊吹山・名水百選の名水 泉神社湧水

集合場所：東海コース JR名古屋駅バスターミナル
滋賀コース JR瀬田駅前

参加費：東海コース・滋賀コースによって異なります。
東海コース5000円

(名古屋より往復の交通費・昼食・保険)

滋賀コース2500円

(ガソリン代とドライブウエー代)

持ち物：帽子・水筒・タオル・雨具・非常食・常備薬
(必要な方)など。

服 装：安全で動きやすい服装・はき慣れた靴・帽子
申込み：必要

問合せ：東海コースは環境市民 東海事務所
滋賀コースは環境市民 滋賀事務所

※環境市民 東海事務所・滋賀事務所の連絡先はP16をご覧
下さい。



← 連載終了のお知らせ

連載「Münster-Beilage～環境首都の現場から～」は、
vol.6 をもって大好評のうちに終了いたしました。

Münsterやドイツの環境への取り組みは引き続き、
執筆者近江まどかさんの「ドイツ環境ジャーナル」で
紹介されますのでご覧ください。

【URL】<http://blog.goo.ne.jp/madokuccia>



10月号からはまた新しい連載がはじまります。
お楽しみに！



環境市民 企画協力:KBS地球温暖化防止 キャンペーン ラジオ番組コーナー「KYOTO IT」

環境市民会員限定 番組モニターボランティア募集

KBS主催「KYOTO IT」キャンペーン趣旨 —世界との約束が京都にはあります—

2005年2月16日、京都議定書が発効しました。
これにより、2012年までに日本は温室効果ガスを6%
削減しなければなりません。これを達成するには、市
民、行政、民間、環境NPO、すべての団体、個人が
それぞれに具体的にアクションを起こし、連携してい
く必要があります。

今、世界が京都を注目しています。それは、京都が
環境先進都市として世界の先駆けになる可能性を秘め
ているともいえます。そのためのキャンペーンがこの
「KYOTO IT」。KYOTO ITには「DO IT」のように「や
ろうよ」、つまり、環境問題を解決していくためのア
クションをやるよう、京都議定書を達成しようよ、そ
んな意味が込められています。

* * *

環境市民は、このコンセプトにもとづくKBS主催
の「KYOTO IT」キャンペーンの一環として行われる、
ラジオ番組「ただ今勤務中！ 森谷威夫のお世話にな
ります！！」の一コーナーである「KYOTO IT」への
情報提供、企画協力を行っています。今、何が、どう
問題で、私たちは何ができるのか。日頃の活動体験を
もって収集した情報、視点をみっちり、分かりやすく
お伝えしています。

環境市民ではよりよい企画をつくっていくために、今回、
KYOTO IT コーナーのモニターボランティアを募集しま
す。毎週、番組を聴いていただきその感想を1か月分まと
めてメールなどで送っていただいたり、直接お話をおうか
がいらさしてもらったりというものです。環境のことを知り
たい！ 番組に関心がある！ という方におすすめです。
みなさんのご応募どしどしお待ちしております。

資 格：環境市民会員

人 数：10人程度

備 考：特に謝礼などはありませんのでご了承ください。

応募先：お名前、連絡先電話、メールアドレスを明記の
上、環境市民京都事務局まで電話、またはFAX、Eメール
にてお申し込みください。

締 切：人数になり次第締切

(場合によってはこちらで選考させていただきます)

《番組基礎情報》

◎放送される曜日、時間帯

KBS 京都ラジオ「ただ今勤務中！ 森谷威夫のお世話にな
ります！！」(月曜日から木曜日の午前10:00から10:50)
の中の10:25分頃(約3分間)放送されます。このうち環
境市民の企画協力は毎週月、火、水曜日の放送分です。

※番組詳細 <http://weblogs.kbs-kyoto.co.jp/osewa/>

◎受信エリア

http://www.kbs-kyoto.co.jp/contents/radio/area_map/r_area.html

◎主催：KBS京都

◎後援：環境省、京都府、京都市、京都府教育委員会、
京都市教育委員会、京都商工会議所、(社)京都青年会議所、
京都新聞社、(社)京都工業会

◎協力：京都府地球温暖化防止活動推進センター、
京と地球の共生府民会議、京のアジェンダ21フォーラム、
京エコロジーセンター 他

地球の なかま

地球に暮らす生き物との出会い
センスオブワンダーで心豊かに

センスオブワンダー...

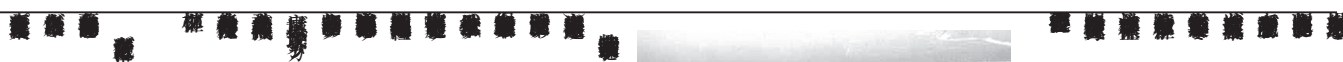
アメリカの作家であり、海洋生物学者でもあったレイチェル・カーソンが、
著書「センス・オブ・ワンダー」の中で伝えた自然を感じる感性

第13回 【後編】 命のゆりかごマングローブ その減少と私たちとのつながり

文／ 荒川 共生^{ともお} (特定非営利活動法人 アジアボランティアセンタースタッフ)



12月



10月



エビの養殖池

10月



マングローブ植林の様子

URL: <http://avc.or.jp/index.html>

90

みんな集まれ!

わしっわしっ ひろば

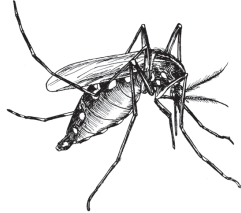
8月のテーマ:

私のまわりのエコな生きもの

あなたと
つくる
ページです

夏真っ盛りの8月。生きものたちもそれぞれの生命を謳歌しています。パソコンばかり見てないで、よ〜く周りを見つめてみましょう。あなたの周りにもたくさん生きものがいるはず。あなたにとつてのエコな生きものについての投稿を募集しました。

蚊



あえて「蚊」を取り上げます。小さな水溜りで成長するボウフラ。成虫になっても陽のあたらない場所でじっとして、暗くなるとエネルギーを求め、熱センサーを駆使して吸血するメス。水を飲んで生き抜くオス。

ネッタイシマ蚊やヒトスジシマ蚊が発生すると「デング熱」が蔓延する。「デング熱」は日本では殆ど知られていないが、シンガポール・マレーシア・インドネシアなど赤道地帯では、毎年大量発生する恐ろしい伝染病だ。昨年、この「デング熱」が台湾南部で大量発生した。温暖化によって凄まじいスピードで北上しているようだ。数年後には沖縄に達する可能性もある。地球温暖化防止を推し進めることで、「デング熱」発生阻止にも貢献したい。(亀井 泰裕さん/会員)

オリヅルラン



子ども時代からオリヅルランが身近でした。ベランダの緑の中に必ずありました。母の園芸意欲がすたれたり復活したりするのに合わせ、消えては現れ……。

最近ふと気がつけばまた窓際がこの葉が侵食(?)し始めています。2年前に人からもらった1株が13株に増えたそうです。(P.N. なのりん/会員)

アメリカミズアブ



うちにはアメリカミズアブが大発生。生ごみコンポストに卵を産み付け、生ごみをモリモリ食べます。その食欲はすごくて、一日で野菜くずの姿が見えなくなるくらい。電気生ごみ処理機もビックリです。アブといっても人を刺すことはないのですが、まち中での大量発生は困りもの。エコと人間のエゴの狭間で、ジレンマに苦悩する毎日を送っています。

(P.N. はえたたき/会員)

ダンゴムシ



子どものころは庭や公園で生き物をじーっと見ているだけで時間を過したりしました。さまざまな生き物の中でも私はだんご虫を見ているのが面白かったです。けっこうよく動かし、つつくとまるまるし(笑)。理科の授業で「落ち葉を食べて分解してくれる」と知って「だんご虫もけっこうやるなあ」なんて思っていました。生き物たちは普通に生きてるだけでもエコな毎日を送ることができて羨ましいです。

(P.N. あっこ/会員)

編集部より…エコな生き物、ちょっと難しいテーマだったでしょうか。ただ、周りを見渡せば、そこかしこに生き物はいます。あなたにとっての「エコ」な生き物を探してみませんか。そんな眼で世界を見ると、いつもとは違ったものが見つかるかもしれませんよ。

イラスト:川島 奈美(オリヅルラン、アメリカミズアブ、ダンゴムシ)、藤本 芳一(蚊)

10月号のテーマは、「私が取り組む容器包装削減策」です。

スーパーやコンビニで当たり前のように渡されるレジ袋、過剰なほど保護された煎餅やクッキー、飲んだら増える空き缶などなど、私たちの周りには容器包装であふれています。これらを減らしていくために、あなたが取り組んでいること、今後取り組みたいと思うこと、近所の容器包装を減らしているお店の情報、自治体の施策など、本ニュースレターで紹介したい情報を募集します。

編集部では読者の皆さんとのコミュニケーションを通じてよりよい紙面づくりをめざしています。ニュースレターへのご意見、ご感想もドシドシお寄せください。ニュースレター編集部まで、下記の方法でお送りください。

ご意見・ご感想をお寄せいただいた方に『コレため!』で紹介した編集部スタッフの手作り石鹸をプレゼントします。(会員限定)

➡ ニュースレター編集部まで、メールかFAX、郵送でお送りください

《《《 締め切り:8月31日(木) 必着 》》》

● E-mail ●
newsletter@kankyoshimin.org

● FAX ●
075-211-3531

〒604-0932 京都市中京区寺町通二条下ル 呉波ビル3階
NPO 法人環境市民 みどりのニュースレター編集部 宛

環境市民のウェブサイトからも投稿できるようになりました!

●環境市民ウェブサイト URL <http://www.kankyoshimin.org>
《トップページ》→《ボランティアひろば》→《掲示板一覧の「みんな集まれわいわいひろば」》と順にクリックしてください。

第14回

瀬島 奈保子さん

大阪府和泉市の小学校での環境共育活動に関わったのが始まり。子どもたちとこれからの社会を見つめます。

聞き手・ニュースレター編集部 安江 晃子
撮影・ニュースレター編集部 千葉有紀子

今月号の特集「エコロジカルな夏遊び」にご協力いただいた瀬島奈保子さん。「環境共育を通して子ども達が社会、そして世界に関心を持つ人に育ってほしい」。優しく、気さくな方でリラックスをした感じで取材をさせていただきました。

◆はじめは国際協力

現在は環境共育について、本を読んだり、講演会に積極的に参加するなどして学んでいる瀬島さん。でも、当初は国際関係に興味をもっていただけのこと。とある講演会で日本の企業がフィリピンの人の生活の場を奪っていると聞いたことがきっかけで、「なんとかしたい」と国際関係の勉強を始めたそうです。ところが、ご実家が自然が多いところにあつたことや、子どもの頃から「もったいない!」とモノを大切に暮らしてきたことからだんだん環境問題にも興味があふくらし、その勉強も始めると「環境問題をなんとかしたい!」という思いの方が強くなり、今ではすっかり環境問題に取り組むようになったそうです。

◆世界の問題は日本の問題

以前は国際問題の勉強もしていたことから、瀬島さんの環境共育の考え方にはグローバルな要素も含まれています。「世界に問題があるのは発展途上国よりも先進国に問題があるせい

じゃないか?と思ったんです」。発展途上国の資源を吸い上げる先進国の企業はたくさんあります。そして、そういった企業に利益を与えているのは、先進国に住む私たちです。「環境共育を行なうことで、世界のがちやんと見える子どもになってほしい」。自分の行動によって子どもたちに、自分の周りのことに興味を持たずに過ごしてほしい。



てどんなことが世界に起こるのか、グリーンコンシューマーなどを通して知ることができているのではないかと環境共育についての活動や勉強を始めたそうです。

◆とよなか市民環境会議アジェンダ21

現在は大学院に通っています。そのインターンシップ制度でNPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21で活動を始めました。とよ

なか市民環境会議アジェンダ21にはいくつかの部会があり、インターンシップ期間が終わった今は「花とみどりのネットワーク」という部会にて事務局のアルバイトとして関わっています。この部会では、行政が学校給食の残渣(ざんさ)や街路樹などの剪定枝をまぜて作ったたい肥を市民に有料で頒布する活動を行なっています。

この事務局長の井上和彦さんが、瀬島さんと環境市民をつなげてくださったきっかけの人。「環境共育に興味があるって言ってくれたよね」と環境市民の活動を紹介されたそうです。今月号の特集の他にも、大阪府和泉市の小学校で行なわれた環境共育授業の企画にも関わっています。

◆来春からは学校の先生に

来春からは私立の中高一貫校で客員教諭になられるそうです。担当科目は英語のオーラルコミュニケーション。「その科目では環境共育に触れるのは難しいのでは?」と尋ねたところ、「でもちゃんとした教材選びをすれば大丈夫です」と力強い言葉が。自分の周りの問題、日本の問題、世界の問題をちゃんと認識して、それを解決する力を持った子ども達が育ってほしいですね。

編集後記

【編集部】(五十音順)

有川 真理子 風岡 宗人 久保 友美
鈴木 郁 千葉 有紀子 寺西 孝一郎
羽野 和幸 安江 晃子 山形 七日
鱈部 晶彦
下司 智子 (デザイン・レイアウト)

編集を終えて……

いよいよ夏休み到来! 大人になっても「夏休み」ときくとワクワクしますね。今回の特集では、ツバメが餌場の情報交換をしていると知って、本当に驚きました。地図もないのにどうやって? 考えれば考えるほど不思議です。もしかして近所のカエルもあの鳥も、虫もしゃべっている!? よい夏休みを!
(ニュースレター編集部 有川 真理子)

次号
予告

みどりの
ニュースレター
No.160
2006年
9月号

現在
編集中!

特集: 容器包装リサイクル法改正
について《前編》

容リ法からみえてくる新たなものづくり社会とは!? 今回は2ヶ月にわたって特集します。お楽しみに!

今月のありがとう!

目立たないところでも、
お力を貸してくださった方々に、
感謝をこめて。
(敬称略)

7月号ニュースレターの発送

秋本 直美/形野 美奈/久保 浩
杉本 津也子/鈴木 紘/福本 葉子
藤井 千穂/藤田 沙智

事務局作業のお手伝い

吉尾 麻里

《五十音順・敬称略》

ご協力、ありがとうございました!

新会員の方々

6月14日から7月14日

今泉 潤
北村 ますみ
村瀬 弘一郎
森田 良彦
吉尾 麻里
吉田 理恵子

寄付

6月14日から7月14日

大久保 玲子 正木 儀憲
上川 栄子 與語 桜子
川上 博美
紀川 龍一 ブックセンター名豊
北村 ますみ
白石 克孝

ありがとう
ございました!

新入会員 * INTERVIEW

■吉尾 麻里さん (6月14日入会)

大学の先輩の紹介で環境市民に参加。「今は京都グリーン購入ネットワーク(環境市民が事務局を担っています)のお手伝いを中心に活動しています。以前から環境ボランティアに興味があったので、毎回とても楽しいです」。

環境市民に入会しよう!

環境市民は、多くのボランティアと会員の皆さんの参加によって支えられています。「持続可能で豊かな社会づくり」のために、ぜひ会員になって環境市民の活動を応援してください!

会員特典

- 月刊会報誌「みどりのニュースレター」をお届けいたします。
- 行事などの参加費を割引させていただきます。
- 会員専用ブログ「ボランティア広場」への参加ができます。
- 環境に関する様々な情報を得たり、また質問や相談ができます。

会費

種別	年会費	入会金
個人会員	4,000円	1,000円
ペア会員	6,000円	2,000円
シニア・学生会員	3,000円	—
ファミリー会員	8,000円	2,000円
助成会員	10,000円	—
特別助成会員	50,000円	—
終身会員	一括 80,000円	—
営利法人会員*	1口 50,000円	50,000円
非営利法人会員*	1口 10,000円	2,000円

*年会費は一口以上

会費の振込み方法

- 郵便振替の振込用紙に、住所・氏名・電話番号・会員の種類・送金内容事項をご記入の上、「年会費+入会金」をご入金ください。
(※シニア・学生・助成・特別助成会員は入会金不要)
- ご入金を確認後、最新のニュースレターと会員バッジ、入会記念としてポストカードをお届けします。

~あなたのご協力が環境市民を支えます~

♥ 寄付をする... 住所・氏名・電話番号・寄付金額をご明記の上、下記の振込先へお振り込みください。

会費・寄付のお振込み先 【郵便振替】口座番号：01020-7-76578 加入者名：環境市民

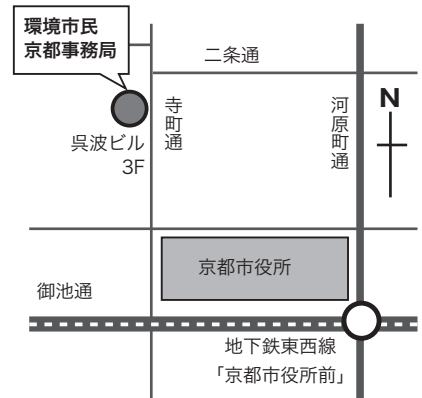
(発行) 特定非営利活動法人 環境市民 (代表) 塚本 珪一・秋本 育生 (発行人) 堀 孝弘
【TEL】075-211-3521 【IP 電話】050-3581-7492 【FAX】075-211-3531
【E-mail】life@kankyoshimin.org 【URL】http://www.kankyoshimin.org
〒604-0932 京都市中京区寺町通二条下ル吳波ビル3階 (月から金 午前10:00から午後6:00)

環境市民 東海事務所

【TEL&FAX】052-521-0095 【IP 電話】050-3604-6182
【E-mail】tokai@kankyoshimin.org 【URL】http://www.kankyoshimin.org/tokai/
〒451-0062 愛知県名古屋市中区花の木1丁目12-12 花の木 AOIビル4階

環境市民 滋賀事務所

【TEL】077-522-5837 【E-mail】cefshiga@kankyoshimin.org
〒520-0046 滋賀県大津市長等2丁目9-12 笠文彦気付



本誌の無断複写・複製・転載を
禁じます。

「環境市民」
登録商標 第4809505号

この印刷物は風力発電による自然エネルギーを使用して
古紙配合率100%再生紙に、大豆油インキで印刷しました。

印刷：(有) 紀書房



環境市民

Citizens Environmental Foundation

21世紀
地球を、地域を、生活を、
持続可能な豊かさに

